



9. 恩師を囲み懐かしいメンバーで記念撮影。10. 立派に成長した姿を喜ぶ恩師との再会に、少し照れ笑いをのぞかせながら昔話が花が咲く。11. 外は吹雪が吹きつけるほどのいてつく寒さ。12. 一生に一度の成人式、晴れ姿にそれぞれの個性が光る。13. 式典後はシドニーオリンピック銅メダリストの目下部基栄さんが記念講演。「毎日の積み重ねは目に見えなくても、いずれ大きな力になる」など数々の言葉が新成人の心に響いた。14. 式典中の恩師による祝辞を受け、緊張が和らいだ瞬間。15. 伊方小の卒業生が残したタイムカプセルを開封。幼いころの夢や思い出が詰まっていた。16. 昔と変わらず語り合える大切な仲間と再会を誓い合った。



1. 式典開会、大人の自覚が感じられる強いまなざし。2. 新成人を代表して勝木一代さん(伊方)が家族や恩師、地域の人に感謝と誓いの言葉を述べた。3. 町長をはじめ多くの来賓から祝辞が贈られる。4. 久々に会う友との話題は尽きない。5. 6. 7. 随所で互いの晴れ姿をカメラに収めるシーンが見られた。8. 懐かしい顔がそろい歌声が上がる。



晴れ着姿に彩られた248人の門出

大池 美佳子先生 ▶「社会に出て、家庭を持って、これから皆さんにはいろんな責任が出てきます。その中で「誰かのためになれる人」になってほしいと思います。親のため、子どものため、もっと言えば福智町のため、日本のために、何かひとつでも誰かのためになれる人になってください。大塚 忠生先生 ▶「僕自身、みんなとの出会いもそうだし、たくさん先生のたや保護者のかたとの出会いがあったからこそ、今までやってこれたんだと思っています。みんなもこれから訪れる一つひとつの出会いに感謝し、周りの人にも感謝しながら頑張っていたいただければと思います。宮田 理先生 ▶「夢を語る大人になれ」。わたしの恩師がいつも言う言葉を、今日は皆さんに贈りたいと思います。目先のことだけにとらわれず、20年後、30年後にどう大人になっていきたいかを考えながら、福智の子もたちに夢を語るような大人になってほしいと思っています」。

message 新成人に贈るメッセージ 恩師の思い



最後の昭和生まれ、初の平成生まれの新成人を祝う式典が、「成人の日」の1月12日に地域交流センターで統一開催されました。あいにく雪が降りしきる悪天候でしたが、例年並みの約8割にあたる248人が町内外から出席。会場では仲間との再会に歓喜の声が絶えず、懐かしい顔を見つけては写真を撮り合ったり、昔を振り返ったりしながら旧交をあたため合う様子が見られました。

式では浦田弘二町長が祝辞の中でかつてのCMのキャッチコピー「時は流れない、それは積み重なる」を引用。「何もしなければ時はただ流れていきますが、自分自身が常に目的意識を持って一つひとつの時々を大事に生きていけば、必ず積み重なっていきます。皆さんもこれからの一日一日をぜひ大切に、満足のいく人生を築き上げていくください」と激励しました。

新成人の中には景気低迷に就職を心配する声もありましたが、不況に負けない強い意気込みを語る姿に、社会の一員としての自覚と責任が感じられました。この日の決意を忘れずに、それぞれの夢に向かって若い力を存分に発揮し、未来を切り開いてほしいと願っています。

人生の大きな節目である成人式。昔と今を語り合うことで、自分の成長を実感できたのではないのでしょうか。そのことに改めて感謝し、支えとなる周囲の存在を再確認できた、有意義な一日となったようでした。